

令和 2 年度

公益財団法人 舞鶴市花と緑の公社の経営状況を説明する書類  
(決算に関する書類)

## 目 次

1. 事業の実施状況	・・・・・・・・・・	1
2. 令和2年度決算の状況	・・・・・・・・・・	4
(1) 収支計算書	・・・・・・・・・・	5
(2) 貸借対照表	・・・・・・・・・・	6
(3) 正味財産増減計算書	・・・・・・・・・・	7

# 1. 事業の実施状況

公益財団法人舞鶴市花と緑の公社（以下「公社」といいます。）は、豊かな花と緑に彩られた美しいまちづくりを推進し、市民の健全な心身の育成と快適な生活環境づくりに寄与するため、公園や公共施設及び民有地において、市民と協力のもと、緑化の促進や自然環境の保全を行い、その普及啓発を行ってまいりましたが、指定管理を行ってきた舞鶴自然文化園が令和3年度から市の直営となること等に伴い、令和3年3月31日をもって解散いたしました。

令和2年度は、公社の最終年度となりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初計画していた事業を中止・縮小せざるを得ない状況の中、以下の事業を実施するとともに、四季折々の自然とふれあえる場、憩いの場、野外学習やレクリエーションの場を来園者に提供するため、舞鶴自然文化園の適切な管理運営を行いました。

## (1) 公益目的事業

### ア 緑化普及啓発事業

#### (ア) 各種展示会の開催

次の展示会を実施し、来場者数は10,802人でした。

展示会	期 間	来場者
ツバキ展	令和2年4月1日～12日(12日間)	482人
	令和3年3月19日～28日(10日間)	644人
アジサイ展	令和2年6月12日～7月12日(31日間)	8,306人
紅葉展	令和2年11月20日～29日(10日間)	1,370人

・令和2年5月9日～17日の「春の花と山野草展」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

#### (イ) 「花と緑」の情報発信

公社ホームページ、舞鶴自然文化園のパンフレット・看板、広報まいづる、FM放送、情報誌や同園で行う展示会やイベント等により「花と緑」に関する情報をSNSも利用して発信しました。

なお、これらの情報発信については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年より縮小したものとなりました。

#### (ウ) 講習会の実施

市民を対象とした講習会や団体からの要請を受けた出前講座を実施しました。

講習会、出前講座	実 施 日	参加者
木の実を使った小物作り	令和2年11月22日	37人
	令和2年11月29日	26人

お正月寄せ植え教室	令和2年12月5日	13人
出前講座（寄せ植え教室）女布新町	令和2年11月15日	25人

・令和2年5月4日の「多肉植物寄せ植え教室」及び同年4月10日の「出前講座（寄せ植え教室）」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

(エ) 舞鶴自然文化園の四季写真展

舞鶴自然文化園の四季折々の魅力をアピールするため実施予定であった、同園を題材とした第17回舞鶴自然文化園の四季写真展は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止しました。

(オ) 花苗・花の種子等の配布

まいづる環境市民会議の「みどりのカーテンプロジェクト」に法人会員として参加し、ゴーヤーを当園で育成し、その苗1,000株、種1,100個を同会議に提供しました。

令和3年3月15日～17日には、JR東舞鶴駅北口及び南口、JR西舞鶴駅東口の花壇の花苗を市民に抜き取って持ち帰っていただきました。

イ 緑のリサイクル事業

資源の循環型システムの構築を目的とする緑のリサイクル事業は、園内の除草作業で発生した雑草や落ち葉を堆肥化し、花壇等で使用しました。

ウ 貴重希少種保存事業

国内外から収集された原種をはじめとする貴重なツバキや絶滅危惧種の「オオキンレイカ」など貴重な植物の維持保存を行いました。

エ 自然体験活動事業

(ア) 自然体験活動の支援

小学生等延べ57人に対し舞鶴自然文化園内の草花等に係る自然学習や自然体験活動を支援しました。

(イ) 自然とのふれあいプログラムの実施

各種自然活動団体の協力のもと、自然とふれあい、自然の恵みを実感できる「自然とのふれあいプログラム」を実施しました。

プログラム	実施日	参加者
ツリークライミング	令和2年7月18日	23人
夏の星空観察会	令和2年8月10日	32人

・令和2年4月25日の「春の自然散策会」、4月26日の「カブトムシの幼虫採取会」、5月4日の「子どもと動物のふれあい」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

## オ 花のあるまちづくり事業

市内の公園、街路、広場等に四季折々の花で潤いのあるまちづくり事業を実施しました。

(ア) 花壇の植替え、花ガラ摘み・除草・消毒・切り戻し・施肥等により適切な維持管理を行いました。

花壇の箇所	植替え実施日	備考
JR 西舞鶴駅東口	令和2年5月19日、10月15日・16日	
JR 東舞鶴駅北口	令和2年6月4日・5日、10月29日・30日	
JR 東舞鶴駅南口	令和2年6月18日、11月12日	
舞鶴市総合文化会館	令和2年5月28日、10月1日	舞鶴市文化事業団から受託
青葉山ろく公園	令和2年6月9日、11月5日	舞鶴市フラワー協会から受託

(イ) ハンギングバスケットを作製し、街路等に据え付けるとともに、その維持管理を行いました。

ハンギングバスケットの据付け箇所	実施日
JR 東舞鶴駅北口、同駅南口、JR 西舞鶴駅西口	令和2年6月12日

・令和2年6月12日の市民参加によるハンギングバスケット作製会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

(ウ) 市民や来訪者に快適で潤いのある空間を提供するため、公社作製のプランター等を市内公共施設などに設置・配布しました。

施設	設置期間・配布日	設置数	
舞鶴引揚記念館	令和2年4月1日～令和3年3月31日	6基	
舞鶴市総合文化会館		4基	
青葉山ろく公園		10基	
JR 西舞鶴駅西口	令和2年4月1日～9月30日	10基	
舞鶴自然文化園 入口	フラワーツリー	令和2年4月1日～24日	2基
	プランター	令和2年4月1日～24日	14基
幼稚園及び小学校14施設	令和3年3月1日・8日	56基	

## カ 高齢者・障害者自立支援事業

障害者に働く楽しみを実感できる場を提供するため、舞鶴自然文化園内の椿の実(種子)の採取作業を社会福祉法人に依頼しました。

## (2) 収益事業

ツバキまつりの期間中(令和2年4月1日～12日)にツバキの花木苗などを販売し、その収益については、舞鶴自然文化園の整備、維持管理費用に充てました。

なお、ツバキまつりやアジサイ展(令和2年6月12日～7月12日)に伴うカフェ「ふろーら」の営業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

## 2. 令和2年度決算の状況

令和2年度における収支決算の状況は、収入額 61,077,422 円及び支出額 60,067,320 円で、当期収支差額は 1,010,102 円の黒字となりました。これは、展示会での苗木や物品の販売の収益によるものです。

併せて、建物や設備の修繕等を可能な限り職員が行い、経費の節減に努めました。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ツバキまつりやアジサイ展に伴うカフェ「ふろーら」の営業は中止いたしました。

# (1) 収支計算書

## 令和2年度収支決算総括表

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位：円)

科目	決算額	備考
I 収入の部		
1 経常収益	60,993,574	
(1) 財産運用収入	3,509	
(2) 事業収入	10,294,575	
(3) 受取補助金等収入	50,411,636	
(4) 雑収入	283,854	
2 経常外収益	83,848	
当期収入合計	61,077,422	
II 支出の部		
1 経常費用	60,062,109	
(5) 事業費	29,544,132	
(6) 管理費	30,517,977	
2 経常外費用	5,211	
当期支出合計	60,067,320	
当期収支差額	1,010,102	
前期繰越収支差額	6,958,832	
当期末収支差額	7,968,934	

## (2) 貸借対照表

令和3年 3月31日現在

公益財団法人 舞鶴市花と緑の公社

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	20,439,759	18,386,429	2,053,330
未収金	23,756	157,226	△ 133,470
棚卸資産	0	217,360	△ 217,360
前払費用	0	16,360	△ 16,360
流動資産合計	20,463,515	18,777,375	1,686,140
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特定資産			
花と緑の基金定期預金	15,000,000	15,000,000	0
特定資産合計	15,000,000	15,000,000	0
(3) その他固定資産			
設備機器	166,050	214,650	△ 48,600
ソフトウェア	692,000	338,400	353,600
車両運搬具	1	4	△ 3
什器備品	3	53,643	△ 53,640
リース資産	1	1	0
その他固定資産合計	858,055	606,698	251,357
固定資産合計	35,858,055	35,606,698	251,357
資産合計	56,321,570	54,384,073	1,937,497
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	3,260,272	7,533,826	△ 4,273,554
預り金	10,092,364	4,891,415	5,200,949
流動負債合計	13,352,636	12,425,241	927,395
2. 固定負債			0
リース負債	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	13,352,636	12,425,241	927,395
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	35,000,000	35,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	( 20,000,000 )	( 20,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 15,000,000 )	( 15,000,000 )	( 0 )
2. 一般正味財産	7,968,934	6,958,832	1,010,102
正味財産合計	42,968,934	41,958,832	1,010,102
負債及び正味財産合計	56,321,570	54,384,073	1,937,497



### (3) 正味財産増減計算書

令和2年 4月 1日から令和3年 3月31日まで

公益財団法人 舞鶴市花と緑の公社

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,005	2,000	5
特定資産運用益	1,504	1,500	4
事業収益	10,294,575	17,816,160	△ 7,521,585
自然文化園指定管理料収益	5,200,000	5,389,000	△ 189,000
受託事業収益	498,900	559,520	△ 60,620
販売収益	235,600	1,837,740	△ 1,602,140
喫茶店収益	0	730,150	△ 730,150
入園料収益	4,321,075	9,042,850	△ 4,721,775
実費徴収金	39,000	256,900	△ 217,900
受取補助金等	50,411,636	59,850,143	△ 9,438,507
公社運営費補助金	30,822,608	32,735,461	△ 1,912,853
公共施設管理運営事業費補助金	17,032,468	19,656,232	△ 2,623,764
花のあるまちづくり事業補助金	2,556,560	7,458,450	△ 4,901,890
雑収益	283,854	191,263	92,591
受取利息	220	203	17
雑収益	283,634	191,060	92,574
経常収益計	60,993,574	77,861,066	△ 16,867,492
(2) 経常費用			
事業費	29,544,132	67,566,956	△ 38,022,824
給料手当	14,568,016	36,540,463	△ 21,972,447
法定福利費	2,464,452	5,961,477	△ 3,497,025
福利厚生費	75,832	191,860	△ 116,028
会議費	3,000	7,972	△ 4,972
通信運搬費	114,694	195,593	△ 80,899
減価償却費	102,240	102,240	0
消耗什器備品費	0	307,698	△ 307,698
消耗品費	2,310,160	7,597,379	△ 5,287,219
修繕費	1,751,166	3,996,997	△ 2,245,831
印刷製本費	96,585	1,042,583	△ 945,998
燃料費	417,606	555,318	△ 137,712
光熱水料費	1,521,280	1,698,190	△ 176,910
賃借料	321,378	424,338	△ 102,960
保険料	48,260	142,480	△ 94,220
諸謝金	20,000	95,000	△ 75,000
租税公課	138,400	139,500	△ 1,100
支払手数料	323,680	1,077,625	△ 753,945
委託費	5,044,303	6,112,784	△ 1,068,481
報償費	0	114,724	△ 114,724
支払負担金	0	0	0
雑費	5,720	0	5,720
商品仕入費	165,360	983,959	△ 818,599
原材料費	0	269,452	△ 269,452
棚卸損失	52,000	9,324	42,676

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	30,517,977	9,855,853	20,662,124
役員報酬	370,000	340,000	30,000
給料手当	22,982,470	5,460,069	17,522,401
法定福利費	3,850,118	890,795	2,959,323
退職金共済掛金	144,000	144,000	0
役員損害保険	0	101,700	△ 101,700
福利厚生費	236,468	186,119	50,349
旅費交通費	1,600	700	900
会議費	2,779	6,073	△ 3,294
通信運搬費	509,516	536,155	△ 26,639
減価償却費	196,400	86,400	110,000
消耗品費	191,419	481,507	△ 290,088
修繕費	4,466	135,510	△ 131,044
印刷製本費	0	0	0
燃料費	215,566	271,886	△ 56,320
光熱水料費	0	0	0
賃借料	1,077,504	650,203	427,301
保険料	20,150	60,300	△ 40,150
租税公課	3,470	29,990	△ 26,520
支払手数料	301,232	279,342	21,890
委託費	119,900	99,000	20,900
支払負担金	80,300	92,540	△ 12,240
雑費	210,619	3,564	207,055
経常費用計	60,062,109	77,422,809	△ 17,360,700
評価損益等調整前当期経常増減額	931,465	438,257	493,208
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	931,465	438,257	493,208
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	83,848		
経常外収益計	83,848	0	83,848
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	5,211		5,211
経常外費用計	5,211	0	5,211
当期経常外増減額	78,637	0	78,637
当期一般正味財産増減額	1,010,102	438,257	571,845
一般正味財産期首残高	6,958,832	6,520,575	438,257
一般正味財産期末残高	7,968,934	6,958,832	1,010,102
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	35,000,000	35,000,000	0
指定正味財産期末残高	35,000,000	35,000,000	0
III 正味財産期末残高	42,968,934	41,958,832	1,010,102